

科 目 名		学年	単 位	授業時間	科目区分	授業形態	学修単位	
世界史 World history		2ES	2	90分×30回	履修	講義・通年	—	
教 員 名		岩元 修一 IWAMOTO Shuichi						
授 業 概 要	世界史の系統的な学習は、これが最後となることから、できるだけ歴史全体を包括的に学べるように内容・構成を配慮した。具体的には、地球環境問題の視点を導入することで、宇宙や地球のレベルからも歴史に接近できるようにした。あわせて、人類と自然環境との関わりから産業革命以降現代までを見通しながら、「さまざまな文化や歴史に触れること」ができるように、「他者や他国の立場を視野に入れ」て幅広い見地から物事を判断できるように配慮した。具体的には、時間数の関係から近現代史を中心にしながら、東アジア、南アジア、西アジア、ヨーロッパ、アメリカ大陸の各地域の歴史・文化に関する認識を深められるように工夫した。							
	到達目標			評価方法				
①各々の地域・国の独自の文化・歴史を説明できること。②同時代の他の地域・国との横の関わりを説明できること。③各々の地域・国のありようが時代によってどのように変化するかを説明できること。			①試験60%、②口頭試問20%、③レポート・小テストは20%とする。なお、②に関わる単なる欠席による課題未提出は、通常の試験と同じ扱いとなるので注意すること。					
学習・教育目標		(F)	JABEE基準1(1)					
授 業 計 画	回	項 目	内 容		回	項 目	内 容	
	第1	導入(1)	シラバスおよび現代の社会の概要(1)を説明する。		第16	18世紀の歴史	18世紀のイスラム世界を中心に説明する。	
	第2	15世紀までの歴史	ヨーロッパ世界の拡大を中心に説明する。		第17	19世紀の歴史(6)	19世紀のイスラム世界を中心に説明する。	
	第3	16世紀の歴史(1)	ルター・カルヴァンの宗教改革を中心に説明する。		第18	19世紀の歴史(7)	19世紀の西欧を中心に説明する。	
	第4	16世紀の歴史(2)	英国の宗教改革を中心に説明する。		第19	19世紀の歴史(8)	19世紀後半の西欧を中心に説明する。	
	第5	17・18世紀の歴史(1)	アメリカの独立について説明する。		第20	19世紀の歴史(9)	第二次産業革命を中心に説明する。	
	第6	17・18世紀の歴史(2)	産業革命について説明する。		第21	小まとめ	15世紀から19世紀までの世界の関わりを確認する。	
	第7	中間まとめ	中間まとめとして試験を行う。		第22	中間まとめ	中間まとめとして試験を行う。	
	第8	解答と導入(2)	①試験の解答と復習。②現代の社会の概要(2)を説明する。		第23	解答と導入(4)	①試験の解答。②現代の社会の概要(4)を説明する。	
	第9	18・19世紀の歴史	フランス革命について説明する。		第24	20世紀の歴史(1)	第一次世界大戦について説明する。	
	第10	19世紀の歴史(1)	19世紀のアメリカについて説明する。		第25	20世紀の歴史(2)	第一次世界大戦後の世界について説明する。	
	第11	19世紀の歴史(2)	19世紀のインドを中心に説明する。		第26	20世紀の歴史(3)	1930年代の世界について説明する。	
	第12	19世紀の歴史(3)	19世紀の朝鮮半島について説明する。		第27	20世紀の歴史(4)	第二次世界大戦について説明する。	
	第13	19世紀の歴史(4)	19世紀半ばの中国を中心に説明する。		第28	20世紀の歴史(5)	20世紀前半の中国を中心に説明する。	
	第14	19世紀の歴史(5)	19世紀後半の中国を中心に説明する。		第29	20世紀の歴史(6)	20世紀後半の中国を中心に説明する。	
第15	まとめと導入(3)	①前期末試験の解答。②課題レポートと現代の社会の概要(3)を説明する。		第30	まとめ	①学年末試験の解答を行う。②アンケートを行う。		
自学自習の内容		小テストのための予習やレポートを課す。						
関連科目		現代社会、倫理						
教科書		『改定版世界史A』(第一学習社)						
参考書		『プロムナード世界史』(浜島書店)						
授業評価・理解度		最終回到授業評価アンケートを行う。						
副担当教員								
備考		テキスト・プロムナードは毎回必ず持参すること(不携帯は減点の対象になります)。欠席状況は各自で確認すること。						